



このコーナーでは、男女平等参画をはじめとする様々なテーマの本を紹介します。男女平等推進センター「パリテ」の図書コーナーで貸し出していますので、ぜひご利用ください。



**ママは身長100cm**  
著者：伊是名夏子  
出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン

著者の伊是名夏子さんは「骨形成不全症」という障害で車椅子生活。身長100cm体重20kgで2児を育児中。これまでの歩み、育児での工夫、障害者差別、夫婦別姓、性教育、家族制度の問題などの思いを書いています。



**人は他人 異なる思考を楽しむ工夫**  
著者：さわぐちけいすけ  
出版社：KADOKAWA

学校や職場の人間関係に悩んだことはありませんか？この本は人付き合いについてのコミックエッセイです。学校や職場など人間関係に固執しないというアドバイスが心を軽くします。おすすめの本です。



**女の子の「自己肯定感」を高める育て方**  
—思春期の接し方が子どもの人生を左右する！  
著者：吉野明  
出版社：実務教育出版

自己肯定感の高い女の子に育てるには父親が肝！なぜなら思春期の女の子にとって夫婦関係は社会の縮図であるからだ。女性が不当に扱われるのなら、がんばっても無駄と思ってしまう—女の子の「共学」を促す書である。

## パリテだより

センターパリテでは、さまざまなイベントを開催しています。2019年7月までの主な事業をご紹介します。



令和元年6月8日(土)  
**女性のためのアンガーマネジメント**  
講師：光前真由美さん  
マネジメントとは「(怒りを)後悔しないこと」。怒りとは人間にとって自然な感情の一つだから、怒る必要のあることは上手に怒り、そうでない時は怒らないための心理トレーニングが大切。すぐ活かせるコツも伝授いただきました。怒る必要の有無の線引きは自分で決めてよいというのも印象的でした。



令和元年6月30日(日)  
**ディズニーアニメのヒロインから考える現代の女性像**  
講師：治部れんげさん  
シンデレラや白雪姫が作られた時代背景、世相の説明から現代にいたるディズニープリンセスの歴史などを教わりました。参加者同士でアニメやドラマのこういうシーンが気になるなど話し合うことができ、ジェンダー意識を高めあうことができました。



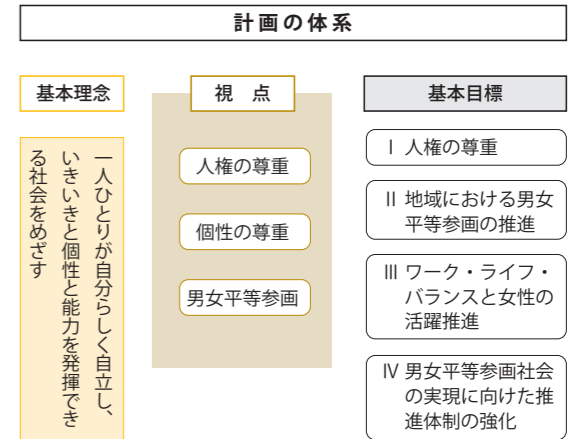
令和元年7月9日(火)  
**女性のための自分史講座**  
講師：遠藤裕行さん  
男性よりも女性のほうが書くことが多いという「自分史」。現在はそれを本、小冊子、デジタル化できる時代です。先生は文章を書くコツを話され、自分史を書くきっかけとなりました。思い出や経験を形にすることで、人生の楽しみを知る講座でした。

## 西東京市第4次男女平等参画推進計画を策定しました

西東京市では今年3月に「西東京市第2次配偶者暴力対策基本計画」を包含した「西東京市第4次男女平等参画推進計画」を策定しました。計画の体系は右下のとおりです。

今回の計画では、基本目標Ⅲの中の「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進」「経済活動における女性活躍の推進」「男性の家事・育児・介護への参画促進」の3つの課題を新たに「西東京市女性の職業生活における活躍推進計画」として位置づけました。これらの課題に取り組むことで、職業生活における男女格差の是正や、職場における固定的性別役割分担などの慣行の見直し、家庭生活における男女の相互協力を促し、女性が働き続けられる社会、活躍できる社会の実現を図っていくことを目指しています。

これから5年間、この第4次計画に沿って講座・講演会の実施や本情報誌の発行など、男女平等参画の啓発活動に取り組んでいきます。



## 住吉小学校区 青少年育成会「わかば」

育成会とは市内18小学校のそれぞれの小学校区にある地域団体が青少年の健全育成を目的に活動を行っています。PTAや保護者の会の活動と違うのは、育成会は地域の0歳から18歳までの子どもたちを対象に活動していることです。

住吉小学校では校歌の中にわかばが使われていることから育成会の愛称を「わかば」として平成14年から活動をしています。夏休み中のラジオ体操やルピナスまつり、12月にはクリスマスコンサートを開催しています。そして、昨年からはパリテ活動室で月1回子どもの放課後の居場所「ふれあいルーム」を開設しています。ルピナスは子どもたちの放課後の居場所としての利用も多いことから子どもたちにとって安心安全な場所になるように見守りをしています。誕生から幼児期までは親の周りで常に確認できる範囲で行動していた子どもたちも小学校に入学すると親の手を離れて、自ら行動範囲を広げていきます。親以外に子どもを見守

る地域のまなざしが必要です。「元気ないね、どうしたの」「偉いね」「あぶないよ、気をつけてね」と声かけを心がけています。

地域の宝である子どもたちを皆さんの優しいまなざしと言葉で、一緒に支えていただければと思っています。よろしくお願ひ致します。



▲ルピナスまつり あめだますくいの様子



▲ルピナスまつり おみこし展示

**お問い合わせ** <子育て支援部 児童青少年課 管理係>  
042-460-9843